

1 . 件名 : 確率論的リスク評価 ( P R A ) モデルに関する九州電力株式会社及び関西電力株式会社等との面談

2 . 日時 : 令和 3 年 2 月 4 日 ( 木 ) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0

3 . 場所 : 原子力規制庁 1 6 階 A 会議室 ( オンライン開催 )

#### 4 . 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 米林主任検査監視官、笠川室長補佐

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 下崎技術研究調査官、伊東技術研究調査官、  
濱口技術研究調査官、藤本技術参与

システム安全研究部門 園田技術研究調査官

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 課長 他 2 名

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ マネジャー 他 2 名

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループリーダー 他 1 名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子力リスク管理グループ 担当課長 他 3 名

日本原子力発電株式会社 発電管理室

技術・安全グループ 担当 2 名

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 制御安全技術課 主席技師 他 2 名

株式会社 原子力エンジニアリング 解析サービス本部

リスク評価グループ 課長 他 1 名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上席特別契約研究員 他 2 名

#### 5 . 要旨

( 1 ) 昨年 1 2 月 8 日の面談に引き続き、九州電力株式会社 ( 以下「九州電力」という。 ) は、配布資料 ( 1 ) に基づき、玄海 3 / 4 号機レベル 1 P R A モデルの質問に対して回答を説明し、原子力規制庁は、その内容を確認した。

( 2 ) ( 1 ) の説明に引き続き、関西電力株式会社 ( 以下「関西電力」という。 ) は、配布資料 ( 2 ) に基づき、大飯 3 / 4 号機レベル 1 P R A モデルの質問に対して回答を説明し、原子力規制庁は、その内容を確認した。

( 3 ) 原子力規制庁は、大飯 3 / 4 号機及び玄海 3 / 4 号機レベル 1 P R A モデルの適切性を確認した結果として、P R A モデルの一部において、修正することが望ましい箇所や中長期的に改善した方がよい箇所を取りまとめることとし、それらの箇所に対する事業者の反映状況については、今後、面談等で確認していくこととした。

## 6 . 配布資料

( 1 ) 事業者 P R A モデル ( 玄海 3 / 4 号機 ) の確認のための質問 ( 第二回目 ) への回答 ( レベル 1 P R A ) ( 九州電力資料 )

( 2 ) 事業者 P R A モデル ( 大飯 3 / 4 号機 ) の確認のための質問 ( 第二回目 ) への回答 ( レベル 1 P R A ) ( 関西電力資料 )